

2006年7月31日発行

今回の紙面から（ページと内容）

- 1 第24回大会のお知らせ
- 3 理事会より・編集委員会より
- 4 大会運営委員会より・  
会計報告・事務局より
- 5 編集後記

午後：シンポジウム

今年度は、6つのワークショップ、28の研究  
発表と7つのシンポジウムが予定されています。

シンポジウムの内容は以下の通りです。

（ [ ] 内は司会者、（ ）内は講師と題目）

## 第24回大会のお知らせ

日時：2006年11月4日（土）～5日  
（日）

場所：東京大学（本郷キャンパス）

（〒113-0033 文京区本郷7-3-1）

日本英語学会第24回大会は、大会運営委員会と開催校のご協力とご尽力により、着々と準備が進められています。今大会のスケジュールは以下の通りです。2日目午前のプログラム開始時刻が例年より早くなりますのでご注意ください。

11月4日（土）

午前：ワークショップ

12:50～13:35：総会

午後：研究発表・シンポジウム

17:40～19:40：懇親会

11月5日（日）

午前：研究発表・シンポジウム（9:30より）

4日（土）午後

1. 極小主義理論の新展開と歴史言語学：  
言語変化における機能範疇の役割 [田中智之]  
（槇田裕加：「主語の認可と機能範疇の素性変化」、宮下治政：「目的語の認可と機能範疇の素性変化：目的語転移を中心に」、水野江依子：「定形節における機能範疇の出現：文副詞の認可を中心に」、田中智之：「非定形節における機能範疇の出現」）

2. 会話の構造と文法：コンテキストにやさしい文法研究の試み [山口治彦]（山口治彦：「話法の4分類と人称的对立」、定延利之：「体験と知識の文法」、岩崎勝一：「多重文法仮説：英語受動文の考察」、討論者：高見健一）

5日（日）午前

3. 音声分析ソフト Praat 等を利用した音声・音韻研究：入門から最前線まで [菅原真

理子] (菅原真理子:「Praat を用いた音声研究の基礎:tutorial」, 中井さつき:「日本語とフィンランド語に於ける utterance-final lengthening について(音声の長さに関する研究の方法)」, 石原 健:「Praat を用いた tonal alignment の発話研究について」, 新谷 敬人:「Praat を用いた日本語イントネーションの知覚研究」)

## 5 日(日)午後

4. 複合動詞の意味と統語 [由本陽子] (星宏人:「機能範疇と複雑述語」, 由本陽子:「複合動詞における格標示と $\theta$ 付与一統語的複合と語彙的複合の差異一」, 福島一彦:「日本語語彙的複合動詞のタイプ別生産性」)

5. コミュニケーションはいかに成り立っているか一言語システム・相互行為・身体をめぐって一 [井出里咲子] (中川 敏:「言語システムと人格問題」, 西阪 仰:「会話という社会的活動と言葉をめぐるいくつかの考察」, 砂押由佳子:「使用可能なコミュニケーション方略を駆使して一在米日系工場でのやりとり」, 井出里咲子:「コミュニケーションにおける文化的規範一スモールトークの事例から」)

6. Empirical Issues in Minimalist Theorizing [斎藤 衛] (野村昌司:「Nominative Case licensed by non-finite T」, 北原久嗣:「‘Conflicting’ Relations and the Derivational Model」, 高橋大厚:「Ellipsis and the Theory of Movement」)

7. metarepresentation をめぐって [内

田 聖二] (内田 聖二:「引用と metarepresentation」, 松井智子:「語用論, 心の理論, metarepresentation」, 岩田彩志:「エコー疑問文と if 条件文における metarepresentation」, コメンテーター:西山 佑司)

なお、本大会の詳しい内容につきましては、9月にお送りする「大会資料・プログラム」をご覧ください。

### ◇ 大会当日の受付について

大会当日は受付にて大会参加費(2000円)を戴き *Conference Handbook* と名札をお渡しします。名札をつけていない方は入室できませんのでご注意ください。また、4日(土)の受付は12時より始めますのでお早めにお出かけ下さい。

### ◇ 総会について

4日(土)の12:50より13:35まで総会を開催します。総会では、会長の挨拶、開催校代表のご挨拶、大会運営委員会、編集委員会、事務局からの報告、学会賞選考報告などがあります。会員の皆様の積極的な参加をお待ちしております。

### ◇ 懇親会について

4日(土)午後17:40より19:40まで、学内の山上会館において会員懇親会(会費

4000 円（学生 3000 円）を催します。多数ご参加下さい。

#### ◇ 証明書等の発行について

全国大会出席のため、所属機関に提出する証明書等が必要な方は、返信用封筒を同封の上、下記までご請求下さい。書式が定まっている場合には証明印以外の部分を記入したものをお送り戴ければ幸いです。

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 2-44-5  
桐原書店内  
日本英語学会事務局

#### ◇ 学内食堂の利用時間

4 日（土）は中央食堂と法文 2 号館地階食堂が、5 日（日）は中央食堂がご利用になれます。営業はいずれも 11:00 からです。

### 理事会より

#### ○ 会計

2005 年度収支決算書および 2006 年度予算計画書について財務担当より説明があり、審議の結果、承認されました。

#### ○ Professor S. Anderson (Yale University) 特別講演について

この秋に学習院大学に招聘される Yale 大学の Stephen Anderson 教授をお招きして、日本英語学会／学習院大学共催の形で特別講演会を

開催することが決まりました。(Anderson 教授は、現在、LSA の Vice President で、来年度の会長就任が決っています。)

日時： 11 月 3 日（金）18:00-19:45

演題: The English "Group Genitive" is a Special Clitic, Not an Inflection

場所：東京大学本郷キャンパス（法文 2 号館 1 階 3 番大教室）

#### ○ 第 25 回大会（2007 年度）の開催校

来年度の大会は、2007 年 11 月 10 日（土）・11 日（日）、名古屋大学にて開催されることが決まりました。

### 編集委員会より

#### ◇ *English Linguistics* 第 23 巻 1 号（2006 年春号）の刊行について

EL23. 1（春号）が刊行されました。一般論文 2 編、書評論文 7 編、日本英語学会新人賞佳作論文 2 編が掲載されています。会員の皆様には、6 月中旬に送付されております。

#### ◇ *English Linguistics* 第 23 巻 2 号（2006 年秋号）の応募論文の査読結果について

EL23. 2（秋号）に対する応募論文の査読結果は、次の通りです。

	一般論文	N & D	書評論文
応募数	12	3	7
採用	4	3	7
不採用	8	0	0

◇ *English Linguistics* 第 24 巻 1 号  
(2007 年春号) への投稿について

来年 2007 年 6 月発行の *EL*24. 1 (春号) の原稿締切は、2006 年 10 月 1 日(日) (必着) です。2004 年 2 月発行の会員名簿に記載されている投稿規定及び書式に関する注意事項を通読され、規定を遵守してご投稿下さい。

特に論文の長さ (1 頁 25 行、70 ストローク以内で、一般論文および書評論文は 40 枚以内、N&D は 12 枚以内) については、規程違反が甚だしい場合、内容の如何に関わらず不採用となりますので、十分ご注意下さい。

◇ 投稿論文の書き直し期間について

現在は、一次審査を通過した一般論文および N&D の書き直し期間は、一律 4 週間となっておりますが、*EL*24. 1 (春号) (2006 年 10 月 1 日締切分) の審査から、小幅修正 (4 週間書き直し) と大幅修正 (4 ヶ月書き直し) の二つに分けることになりました。このうち大幅修正が必要となった論文については、再査読によって採用が決まった場合、その掲載は次の号となりますのであらかじめご承知おきください。この措置は、*EL* の年 2 回発行をより有効な形で機能させるためのものでもありますので、会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 大会運営委員会より

□ 第 24 回大会の個人研究発表への応募  
の審査結果

個人研究発表へは 64 篇の応募があり、審査の結果、本大会では 28 篇の研究発表が行

われることになりました。なお、応募規定 (字・語数制限) に違反する論文がありました。規定は遵守していただきますようお願いいたします。

2005 年度収支決算書 (2006 年 4 月 1 日現在) が監事 (八木孝夫氏、瀬田幸人氏) による監査を経て、5 月 20 日の理事会で承認されました。

[備考] 特別事業費 (別会計) の現在残高は 500 万円となっております。

## 事務局より

- 2006 年 4 月 30 日現在の会員総数は、1,730 名です。会費未納の方は、学会支援機構から送られました振込用紙で納入して下さいようお願いいたします。2 年間滞納されますと、会員規定第 3 条第 4 項により自動的に退会扱いとなりますので、ご注意ください。今回該当する方にはお支払いのお願いを同封させていただきました。
- 学生会員の方は、継続手続きが必要です。手続きの仕方は学会ホームページをご覧ください。
- 今年も大会会場に「親と子の部屋」という保育室を設けます。専門の保育士が待機しています。昨年はお一人のご利用がありました。利用ご希望の方はお子さんの年齢等を 10 月

末日までに事務局にご一報下さい。なお、この部屋の使用に関する一切の責任は利用者が負うものとし、学会は一切責任を負いませんのでご了承下さい。

## 編集後記

最近同僚の先生に教えられて、大学付属図書館の、国内外の大学から専門書を取り寄せてくれるサービスを活用し始めました。送料のみの研究費負担で高価な本が読めます。もっと前から使っていればよかった。研究機関に属すメリットを久しぶりに感じました。

さて、今年度はいよいよ千葉会長体制最後の年となりました。事務局員一同、精一杯努める所存でおりますので、どうぞ引き続きご支援を賜われますようお願い申し上げます。会員名簿作成に際しては、秋頃会員の皆様に情報の更新をお願いする予定です。個人情報保護法のもと充分配慮して行いたいと思いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

現在、11月4日～5日に東京大学で開催されます第24回大会に向けて、大会運営委員会、開催校委員、事務局員等、全力をあげて準備を進めています。特別講演(3日)も含めてこの大会が盛会となりますよう、どうかご参加いただき、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

(鈴木)

---

2006年7月31日発行

編集・発行 日本英語学会

代表者 千葉 修司

発行所 日本英語学会

<http://wwwsoc.nii.ac.jp/elsj/>

〒166-0003

東京都杉並区高円寺南 2-44-5

桐原書店内

電話 (03) 3314-8181

---